



第1回 安房大神宮の森 風土・歴史フォーラム

オンライン
配信あり

2024年4月27日(土)

<参加費無料・ハイブリッド形式>

第1部 10:00-12:00 館山野鳥の森 多目的ホール (関係者のみ予約制, 定員40名)

- * 安房大神宮の森コモンプロジェクト構想と活動の報告
高田宏臣 (一般社団法人環境土木研究所代表・株式会社森と海代表)
- * 歴史講座: 館山まるごと博物館 ① テーマ「逆さ地図から見る安房の地」
愛沢伸雄・池田恵美子 (NPO 法人安房文化遺産フォーラム 共同代表)
- * 鼎談: 高田宏臣・愛沢伸雄・池田恵美子

▶ オンライン視聴について

Peatix というインターネットのシステムからお申し込みください。
参加無料ですが、活動資金を応援するドネーション(寄付)つきチケットもあります。
申込方法が分からない場合は、事務局までお問合せください。

<https://daijinguforestforumvol1.peatix.com>



※各自 自由食

第2部 14:00-16:00 現地見学会 (第1部の会場参加者のみ/小雨決行・荒天中止)

- ・各自自由食後、13:30 野鳥の森駐車場に再集合して現地へ移動、見学は徒歩で散策します
- ・山道を歩きやすい靴、汚れてもよい服装、飲料・雨具持参でお越しください。

★大神宮の森で、縄文大工・雨宮国広棟梁と「縄文集落&縄文小屋」をつくろう!

(石川県能登町の真脇遺跡に雨宮棟梁が建てた縄文小屋が、能登半島地震で無事だったそうです!)

4月22日(月) - 26日(金) 9:00~16:00

▶ 詳細・申込はこちらから ⇒



参加費: 一般 7,000 円・地球守賛助会員 6,000 円・高校生以下 500 円 (環境整備費・保険・昼食つき/1日あたり)
必須持参物: 作業着・手袋・長靴・雨具・ヘルメット等/剣すこ・唐クワ/昼食の食器・水筒・タオル・着替えなど

主催 安房大神宮の森コモンプロジェクト運営委員会

共催 NPO 法人安房文化遺産フォーラム

協力 株式会社森と海/一般社団法人環境土木研究所/株式会社高田造園設計事務所
NPO 法人地球守

問合: 大神宮の森プロジェクト 080-1877-1065 (小栗山) info@chikyumori.org (小川)
安房文化遺産フォーラム 090-6479-3498 (池田) awabunka@awa.or.jp

<千葉県 150 周年記念事業>



チーバくん

安房大神宮の森コモンプロジェクト

～ 第1回 安房大神宮風土・歴史フォーラム ～

<ごあいさつ>

房総半島先端の館山市に安房大神宮の森があります。安房神社の神域であり、黒潮の流れを受けた自然豊かな地は、古くから海洋世界の交流拠点となり、さまざまな文化が育まれてきました。

私は40年近く全国の山を歩いてきましたが、近年は山の荒廃が目立ちます。かつては心身再生の力を与えてくれた山の神気にも衰えを感じ、心を痛めることも少なくありません。

しかし、大神宮の森を歩くたびに神気に打たれ、房総にこれほどの山河が残っていたのかと感動すら覚えます。この素晴らしい自然環境を、ぜひ次世代に手渡したいと思いました。この山中には、無数の段々畑や集落の跡がヤブに埋もれて残っています。その痕跡をたどり、古道や水源を再生することは、災害対策のうえでも重要といえるでしょう。

そこで私たちは、「安房大神宮の森コモンプロジェクト」と命名して賛同者を募り、山林整備に取り組み始めました。「コモン」とは共有財産を意味します。いのちの源である山は本来誰の所有でもなく、みんなで大切に守り、その恵みを享受してきたものです。安房大神宮の森もまた、長い歴史の波に翻弄されながらも、大切につないできた末に、今があることでしよう。

山も川も海も全ては三世（現在過去未来）源です。それを現代に活かしながら、未来に向けてどう守りつなぐか、ということに人類は直面しています。ご縁をいただいたこの地で、風土の豊かさを取り戻す過程を通して現代の閉塞を乗り越え、世界に示せるモデルとなるよう進めていきたいと願っています。

新たな取り組みに際して、先人へ敬意を払うとともに、地域の営みや風土を学びたいと思い、NPO 法人安房文化遺産フォーラムと協働で連続講座を企画しました。オンライン配信も準備しますので、「館山まるごと博物館」の魅力的な歴史をともに学びましょう。皆様のご参加ご視聴を心よりお待ちしております。

安房大神宮の森コモンプロジェクト 代表 高田宏臣

館山市森づくり大使／株式会社森と海 共同代表／株式会社高田造園設計事務所 代表取締役
一般社団法人環境土木研究所 代表理事／NPO 法人地球守 顧問



活動報告動画



安房大神宮の森コモンプロジェクト（位置図）



「土中環境」高田宏臣著



『館山まるごと博物館』